

特別企画：四国地区 ソフトウェア業主要 20 社 業績動向調査（2019 年度）

2019 年度の業績 収入高合計は過去 5 年で最高 ～利益額合計は 2 年連続で 20 億円を上回る～

はじめに

デジタル機器の普及や情報通信技術の発達により、企業が情報を処理する手段・方法が多様化し、取り扱う情報量・運用コストはともに増加した。ソフトウェア業界では、従来の受託開発中心のサービスから業務のアウトソーシング受託など総合的なサービスの提供へ移行している。また、近年ではインターネットとデータセンターを活用したクラウドサービスや AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）サービスの市場が拡大傾向にある。

今回、帝国データバンク高松支店は、ソフトウェア業の業績動向を探るため、2020 年 9 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2015 年度（2015 年 4 月期～2016 年 3 月期）から 2019 年度（2019 年 4 月期～2020 年 3 月期）まで 5 年間の決算の収入高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在するソフトウェア業主要 20 社を抽出し、収入高別、利益額（当期純利益）別、収入高ランキングについて分析した。

※分析対象は TDB 産業分類・中分類で「受託開発ソフトウェア業」または「パッケージソフトウェア業」を主業とする企業

調査結果（要旨）

1. 2019 年度の収入高合計は 442 億 1,100 万円

前年度と比べて 43 億 300 万円（10.8%）多く、過去 5 年で最高

2. 2019 年度の利益額合計は 26 億 5,500 万円

前年度と比べて 3 億 6,900 万円（16.1%）多く、過去 5 年で最高



1.収入高合計推移、過去 5 年で最高

四国地区に本社が所在するソフトウェア業主要 20 社について、2015 年度～2019 年度決算の収入高合計をみると、2019 年度は 442 億 1,100 万円となり、前年度と比べて 43 億 300 万円 (10.8%) 多かった。2 年連続で増加し、3 年ぶりに 400 億円を上回るとともに、過去 5 年では最高となった。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度から 2 社多い 14 社となり、減収は 6 社に減少した。2019 年度の収入高の伸び率トップは、建設機械リース業向けの販売管理システムなどを手掛ける (株) タダノシステムズ (香川県、55.3%増) で、次いで財務・人事・販売管理システムなどを手掛ける四国情報管理センター (株) (高知県、34.0%増)、車載運行管理システムなどを手掛ける (株) エヌピーシステム開発 (愛媛県、24.5%増) が続いた。

年度	収入高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)		
			増収	横ばい	減収
2015年度	36,240	8.5	14	0	6
2016年度	40,473	11.7	16	0	4
2017年度	39,287	▲ 2.9	8	1	11
2018年度	39,908	1.6	12	0	8
2019年度	44,211	10.8	14	0	6

2.利益額合計推移、2 年連続で 20 億円を上回り、過去 5 年で最高

2015 年度～2019 年度決算の利益額合計 (当期純利益) をみると、2019 年度は 26 億 5,500 万円となり、前年度と比べて 3 億 6,900 万円 (16.1%) 多かった。2 年連続で 20 億円を上回り、過去 5 年で最高となった。

主要 20 社の増減益の内訳をみると、増益の社数は前年度より 2 社少ない 12 社となり、減益は 8 社に増加した。人件費や外注費の増加などから減益となった企業があった一方、利益率の良い自社開発ソフトの受注増などで粗利益率が改善し、増収効果も加わって増益となった企業が増加した。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2015年度	2,031	32.3	13	7
2016年度	1,984	▲ 2.3	15	5
2017年度	1,922	▲ 3.1	9	11
2018年度	2,286	18.9	14	6
2019年度	2,655	16.1	12	8

3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社が所在するソフトウェア業主要 20 社における 2019 年度の収入高合計は、2 年連続で増加し、過去 5 年では最高となったことが判明した。製造業・非製造業ともにソフトウェアへの投資が伸長していたなかで、消費税率引き上げや改元へ対応するための需要があり、全体の収入高を押し上げた。

2020 年度に入っては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、IT を活用した生産効率化の需要が高まっている。企業ではテレワークや採用における Web 面接、教育現場ではオンライン授業への取り組みが加速したほか、小売業では EC 販売の強化を図る企業もみられている。また、政府では押印が必要な行政手続きを改める「脱ハンコ」の動きを進めている。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済が冷え込み、企業による IT 投資意欲が減退する可能性があるものの、一方では「with コロナ」に向けた新たなシステム需要が見込まれるため、今後の動向に期待をもって注目したい。

<参考>

四国地区 ソフトウェア業 主要20社 2019年度収入高ランキング

(単位:百万円)

順位	商号	所在地	年収入高 (2019年度)	前年度比 増減
1	株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ四国	愛媛県	6,294	↗
2	株式会社 高知電子計算センター	高知県	4,641	↗
3	株式会社 ファインデックス	愛媛県	4,241	↗
4	株式会社 四国日立システムズ	香川県	3,901	↗
5	四国情報管理センター 株式会社	高知県	3,501	↗
6	株式会社 エヌピーシステム開発	愛媛県	2,677	↗
7	株式会社 ウイン	愛媛県	2,500	↘
8	株式会社 トスバックシステムズ	香川県	2,030	↗
9	株式会社 穴吹カレッジサービス	香川県	1,875	↘
10	株式会社 ソフテック	高知県	1,820	↗
11	コンピューターシステム 株式会社	愛媛県	1,491	↗
12	四国システム開発 株式会社	徳島県	1,320	↗
13	富士通エフサス四国カスタマサービス 株式会社	香川県	1,242	↘
14	オークラ情報システム 株式会社	香川県	1,165	↘
15	株式会社 高知システムズ	高知県	1,098	↗
16	株式会社 アール・シー・エス	香川県	921	↘
17	スタンシステム 株式会社	徳島県	920	↗
18	株式会社 タダノシステムズ	香川県	876	↗
19	株式会社 四国電子計算センター	香川県	855	↗
20	四国行政システム 株式会社	香川県	843	↘

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、青木 真人

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。